
資 料

第 5 回

南山大学法学部・法科大学院—韓南大学校法科大学
学術交流会

青 木 清

本学の大学祭期間中に開催することがほぼ恒例化してきた韓南大学校法科大学との学術交流会が、昨年度も 10 月 31 日(水)～11 月 3 日(土・祝)にかけて韓国中部の大田市にある韓南大学校を会場校として開催された。南山大学からは、唐津博法務研究科長(当時)、平林美紀准教授、岡田悦典准教授、そして法学部長(当時)の私の教員 4 名と 1 年生から 4 年生までの学部学生 19 名の合計 23 名が、秋の深まりを感じさせる大田市を訪れた。

学術交流会のうち学術セミナーについては、11 月 1 日に「韓国と日本のロースクールと司法改革——回顧とビジョン」というテーマのもと、韓南大学校法科大学内にある模擬法廷教室で開かれた。今回は、二つのパートに分かれ、第 1 パートは、「韓国と日本のロースクール」というサブテーマを設け、唐津法務研究科長が「日本におけるロー・スクールの現在——南山大学法科大学院における実践・経験——」という報告を、韓南大の李錫龍法科大学長(当時。なお、韓国では学長は Dean を意味する)が「韓南大学ロースクールの推進状況と目標」という報告をそれぞれ行った。第 2 パートのサブテーマは、「韓国と日本の国民参与裁判制度」というもので、岡田悦典准教授が「日本における裁判員制度の導入の意義と展望」という報告を、韓南大の尹映喆教授が「韓国における『国民の刑事裁判参与制度』とその改善方案」という報告をそれぞれ行った。いずれの報告も、現在、日韓両国で種々議論がなされている問題で、極めてタイムリーな内容のものであった。

このうち、両 Dean が行った第 1 パートの日韓ロースクール制度の報告については、以下にそのレジュメを資料として掲載し、第 2 パートの二つの報告については、本号においてその報告原稿を掲載することとした。内容については、そちらを



参照して頂きたい。

学術セミナー翌日に行われた、学生主体の文化交流は、ソウルへのエクスカーションとなった。韓南大の学生諸君も、ソウルまで一緒に来て、日本の学生たちを案内してくれた。そのホスピタリティーには、いつも感心させられる。心から感謝申し上げたい。

記録をかねて、今回の日程表も次頁に掲載しておく。

韓南大学校法科大学との間では、交換留学の制度も昨年度から始まった。これまでに双方2名、合計4名の交換学生が相手校で1年間勉強をしてきた。今後とも、実りある交流を、地道ではあるが着実に進めていきたいと考えている。関係各方面のご協力をお願いする次第である。

〔資料〕 第 5 回 南山大学法学部・法科大学院 — 韓南大学校法科大学 学術交流会

〈日 程〉

月 日	地 名	時 間	行 程	宿 泊
10月31日(水)	名古屋	8:00	中部国際空港ビル3F 国際線カウンターJ集合	大田外国人寮 スリ館泊
	名古屋	9:40	中部空港発 NH941	
	ソウル	11:50	仁川空港着	
	大 田		歓迎会	
11月1日(木)	大 田		韓南大学校へ 総長訪問, 学内ツアー 学術セミナー 懇親会	大田外国人寮 スリ館泊
11月2日(金)	大 田 ソウル		ソウル観光	ソウル・ベストウエスタン ホテル国都(クックド)泊
11月3日(土)	ソウル		自由行動	
		14:00	ホテル集合, 専用車で空港へ	
		15:45	仁川空港着(予定)	
	ソウル	17:55	仁川空港発 NH942	
	名古屋	19:50	中部空港着	
			到着後, 解散	